

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 9 億 7 千 万円
		特定交通安全施設等 整備事業 (国) 2 5 0 号	赤穂市石ヶ崎		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
赤穂市石ヶ崎				平成 13 年度	平成 18 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し歩車分離を図るとともに橋梁部においては、合併施工により橋梁の架換えを行い、交通安全対策を推進する。	全体 L = 4 8 0 m ・自転車歩行者道整備 (両側) L = 4 4 4 m、W = 3 . 0 m ・橋梁架換拡幅整備 (永久橋架換事業、高潮対策事業を含む) L = 3 6 m、W = 1 5 . 0 m

評価視点	評価内容
(1) 必要性 快適性・ゆとり その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者交通量、自転車交通量が多い。 (自動車 12,683 台/日、歩行者 112 人/日、自転車 62 台/日) ・学童・園児の交通量 (46 人/日)。 ・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (4 件)。 ・死傷事故率が高い。(262 人 / 億台 k m) ・沿道状況が市街地。 ・P T A 要望箇所 ・関西福祉大学 (約 600m) や工業団地があり、通行者層の幅が広い。 ・塩屋小学校、赤穂西小学校や赤穂西中学校の通学路に指定されている。 ・幅広歩道の整備及び連続性確保。 ・前後の整備状況・・・両側整備済み。 ・地元からの事業化に対して要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な用地取得に向けて、赤穂市と用地取得体制に関する協議済み。
(3) 環境適合性	透水性舗装の採用
(4) 優先性	当該箇所は、市街地にあり、自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多く、過去 5 年間に歩行者・自転車利用者の交通事故が発生おり、塩屋小学校や赤穂西小学校及び赤穂西中学校の通学路にも指定されている。このため、早急に自転車歩行者道整備を行う必要がある。

評価 の 結 果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------------------	------	------------------	----------------------